

小中高一貫ふるさとキャリア教育だより

発行日
平成28年6月10日(金)
発行者
宗谷管内地域未来づくり
会議事務局

平成28年度第1回地域未来づくり会議

平成28年6月7日(火) 15:00から、北海道利尻高等学校において、「第1回地域未来づくり会議」を開催しました。

本会議では、平成28年度における各プロジェクトの概要について推進校である利尻高等学校からの説明のあと、各委員から取組の充実につながる御意見をいただくとともに、本会議の委員長である侘美(たくみ)准教授から助言をいただきました。会議の内容は次のとおりです。



○「地域ダイスキ!プロジェクト」の取組について

【説明】

- ・全校種におけるキャリアノートの活用開始、校種ごとに講演会を開催予定
- ・参加型プロジェクト「キッズビジネススタウンりしり」(平成28年10月22日(土)予定)
- ・提案型プロジェクト「神居海岸パーク」(5月連休中に、パークの認知度について、高校生が利尻島への観光客からアンケートを実施済み)

【意見交流】

- ・4月当初からキャリアノートを活用し、生徒に学年の目標や行事ごとの感想を書かせていること(小中学校)
- ・「神居海岸パーク」の取組について、総合的な学習の時間を利用して調査研究を実施する予定であること(中学校)

○「子どもダイスキ!プロジェクト」の取組について

【説明】

- ・座談会の実施(保育所等での実習における母親との交流)
- ・子育て支援に係る出前授業の実施、家庭科における「少子化対策副読本」の活用

【意見交流】

- ・「少年の主張大会」において、少子化や待機児童等をテーマに選択する生徒がいるなど生徒にとっても関心事であることから、このような取組は大切であること(中学校)
- ・「少子化対策副読本」は、若年離婚や望まない妊娠等の問題が扱われていることから、非常によい内容であること(小学校)

助言(稚内北星学園大学 侘美准教授)

- 子どもたちは、地域の魅力に気付いていないことが多いことから、その魅力を知ってもらうために、外からの視点が欠かせない。また、外部有識者との対話により、子どもたち自身が気付くことも大切である。
- 本事業の取組や地域の魅力を発信するために、ICTやSNSなどのコミュニケーションツールは大変有効である。今後の検討課題の一つとして考えてみてはどうか。

参加した委員からの感想

- キャリア教育においては、学校の教育活動と実社会を結び付けることが鍵となる。すべてを学校で完結するのではなく、地域との連携を生かすことが重要である。
- 本事業を通じて、子どもたちが地域の実態を知るためにも、主産業を実体験する機会があればよいと考える。また、町で新たな仕事を生み出すなど、町で頑張る意欲のある生徒を育成してほしい。